

エリーザ・ピアジーニ「わたしの詩の作法」

# Sul mio fare poesia

## Elisa Biagini

walls and leaves sucking rays, spitting suns into soups: our veins, glowing like neons



日時：2015年11月20日（金）

15:00-16:30

場所：総合文化研究所会議室 422 教室

言語：イタリア語（通訳あり）



エリーザ・ピアジーニ Elisa Biagini

1970年フィレンツェ生まれ。現在もなお居住するフィレンツェと、かつてアルダ・メリーニについての論文で博士号を取得したアメリカを主な活動場所とする。伊語と英語を行き来しながら創作と翻訳をなす。その詩からは、ジェンダーや身体性にまつわるテーマが色濃く浮かび上がる。エイナウディ社の詩歌叢書「白本」より、これまで3冊の詩集を発表した。順に、L'ospite『訪問者』（2004）、Nel bosco『森にて』（2007）、Da una crepa『裂け目より』（2014）。ダイアナ・ソーほか訳 The Guest in the Wood『森の訪問者』は2014年度米国最優秀翻訳書賞（詩部門）を受賞。日本で編まれた『脱原発・自然エネルギー 218人詩集』（2012）に、環境をテーマとし、特に「風力」にこだわった次の短詩が収められている。



ELISA BIAGINI  
DA UNA CREPA



Se l'asse cede, se la  
voce affonda,  
c'è qui  
nell'aria, la  
parola-ramo  
che ci tiene.